

# 韓国ブロードバンドの普及とユニバーサルサービス指定

## ーブロードバンドにおけるユニバーサル制度の問題ー

○氏名 神津 実 Kouzu Minoru、キム・ダジョン Kim Dajung

Keywords：ブロードバンド、科学技術情報通信部、ユニバーサルサービス、工事費用、固定

### 1 目的

韓国では、2020年に最大100Mbpsのブロードバンドサービスをユニバーサルサービスの対象に加えた。全国95%以上の地域で固定ブロードバンドサービスを利用できるが、一部地域は収支を理由にブロードバンドが整備されていない。そのため、ユニバーサルサービスへの指定を通じ、情報格差の解消を試みている。本研究では韓国政府の固定ブロードバンドサービスの普及策と、ユニバーサルサービス政策、現状、課題について考察する。

### 2 方法

科学技術情報通信部やその他韓国政府機関の報告書及び政策文書、内外のシンクタンクのレポートやデータベース等を中心に文献調査を実施。

### 3 結果

韓国の固定ブロードバンドは、1995年に発表された「超高速情報通信基盤構築総合推進計画」や1999年にPCの普及、インターネット利用者拡大を狙った「Cyber Korea21」政策などが影響を与えた。OECDの発表では2019年の固定ブロードバンドの普及率は82%、この内100Mbps以上の加入者は85%となる。韓国のユニバーサルサービスを規定している電気通信事業法第2条では、ブロードバンドサービスを「インターネット加入者接続サービス」と規定している。対象を固定ブロードバンドに限定してはいないものの、島しょなどの一部地域でのみ無線を認めるとの規定もあり、事実上固定ブロードバンドを想定している。ユニバーサルサービス事業者のKTの利用約款にはユニバーサルサービスでも一定距離以上の工事に対しては整備費用を申請者に請求すると定めている。科学技術情報通信部も申請者の負担を認識はしているものの、規制する方法がないとの立場である。その結果、ユニバーサルサービスの利用を希望しながらも、契約を諦めるケースが発生している。

### 4 結論

固定ブロードバンドサービスがユニバーサルサービスに指定されたが、工事費用の利用者負担の結果、対象でありながら制度利用ができないケースが発生している。また、このような背景もあつてか、政府はまだその成果は公表されていない。一方、2020年6月に科学技術情報通信部は、地方自治体及びMNOと構築費用を分担し、2022年までに1,300村(50世帯以上)に固定ブロードバンド網を構築する新たな政策を明らかにした。現行のユニバーサルサービス制度の有効性が問われている。

【主要参考文献】

情報通信政策研究院「通信市場競争状況評価(2020年度)」、科学技術情報通信部「政府3次補正予算確定関連科学技術情報通信部主要事項」、OECD「Digital Economy Outlook 2020」